

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）死亡事例 80歳代が最多、併発慢性疾患トップは2型糖尿病

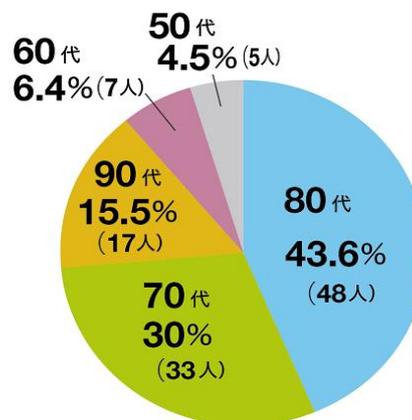
医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之）は、当社が持つ国内最大規模の診療データベースから新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者の死亡事例を調べたところ、2020年2月から5月までで110人を確認、男女比では7対3で、年代別で見ると80歳代が4割超を占めました。また入院時並存症（併発疾患）の慢性疾患では2型糖尿病がトップでした。

今回の調査には、当社が二次利用の許諾を得ている急性期医療を提供する全国419病院からの診療データベース（実患者数3,257万人、2020年7月末日集計）を用いました。その診療データベースのうちの402病院、2020年2月から5月の間の患者約550万人を対象に、退院日が同年2月1日以降のCOVID-19の死亡事例を抽出したところ、110人（男性77人、女性33人）を確認しました。厚生労働省が公表した5月31日までの死亡者数は891人でした。

年代別で見ると、90歳代が17人、80歳代が48人、70歳代が33人、60歳代が7人、50歳代が5人でした。100歳以上と40歳代以下はいませんでした。死亡事例の中で、併発疾患のあった95人（※1）を分析したところ、慢性疾患で最も多かったのが2型糖尿病の25人（26%）で、およそ4人に1人の割合でした。その後に高血圧症が22人（23%）、心房細動及び粗動が9人（9%）などと続きました。また、死亡事例の喫煙歴（※2）を調べたところ、110人のうちの喫煙歴「あり」は40で、喫煙歴「なし」は41、喫煙歴「不明」は29でした。

※1 複数疾患のケースがあるため、死亡事例数と併発疾患数は一致しません。

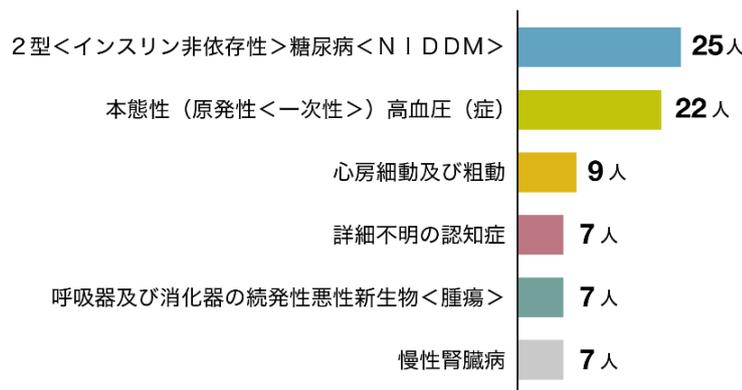
※2 現在、非喫煙者でも過去に実績があれば「あり」とカウントしています。



（2020年2月～5月：402病院）

（合計 110人）

【入院時併存症（1患者複数入力の可能性あり、2名のみ以上集計）】



喫煙歴	男性	女性	総計
なし	21	20	41
あり	37	3	40
不明	19	10	29
総計	77	33	110

＜本件に関するお問い合わせ先＞
 メディカル・データ・ビジョン株式会社
 広報室：君塚・赤羽
 TEL：03-5283-6911 E-mail:pr@mdv.co.jp